

全苗連だより

Vol. 151 (3月号)

令和8年3月25日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

(技術情報)

令和7年度林木育種成果発表会(主催；国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター)の概要

令和7年度林木育種成果発表会につきまして、主催者である国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターより寄稿されましたので紹介いたします。

令和7年度林木育種成果発表会を開催しました

令和8年3月5日(木)、令和7年度林木育種成果発表会を開催しましたので、その概要を御紹介します。

今年度もオンラインでの開催とし、国、都道府県、民間企業や団体等から、163件の申込みがありました。

発表会は、秋田県立大学 木材高度加工研究所の高田克彦教授から「林木改良:Tree Improvement」を考える」と題した特別講演、また、長野県林業総合センターの小山泰弘育林部長から「地域で生きる林木育種の成果～遺伝子解析が地域を救う～」と題した特別報告をいただき、続いて、林木育種センター、森林バイオ研究センター、育種場の研究者から以下の発表を行いました。

○令和7年度の品種開発

育種部 育種第一課 育種調査役 大平 峰子

○スギ特定母樹からの少花粉品種の開発の取組

育種部 育種第二課 主任研究員 松下 通也

○滅失の危機に瀕する滑マツの遺伝子を未来へ遺す

滑山国有林由来の抵抗性アカマツ品種開発一

関西育種場 育種課 主任研究員 高島 有哉

○九州育種基本区のスギエリートツリー等についての特性情報の公表について

九州育種場 育種課 課長 千吉良 治

○小笠原諸島の希少樹種保全の取組

一種子の長期保存に向けた乾燥耐性試験について一

遺伝資源部 保存評価課 特性評価研究室 主任研究員 玉城 聡



○スギの木質改変に向けた異所的な木部細胞誘導系の確立と木部形成関連遺伝子の探索

森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室 主任研究員 佐藤 良介

特別講演の高田教授からは、林木の遺伝的な改良のみならず、種苗生産、栽培管理、育成技術を通じた社会実装による森林を取り巻く環境を改善する構想をお示し頂きました。

特別報告の小山育林部長からは、長野県内における懸案事項(戸隠地域の歴史的資産の保全、カヤの平における牧場跡地の自然再生)を解決する手段として育種技術を活かした取組を紹介いただきました。

また、当センター研究者の発表概要は次のとおりです。

大平育種調査役から、令和7年度の品種開発について説明し、今年度は花粉症対策品種等 30 品種を開発し、第 5 期中長期計画期間中(令和3~7年度)に開発した品種の合計が 161 品種となったことについて発表を行いました。

松下主任研究員から、育種の次世代化を計画的に行い、特定母樹に指定されたエリートツリーからのスギ少花粉品種を開発し、これらのみからなる採種園構成を可能としたことについて発表を行いました。

高島主任研究員から、山口県に残る高齢級の「滑マツ」群落からマツノザイセンチュウ抵抗性品種を開発した取組について発表を行いました。

特定母樹に指定されたエリートツリー少花粉品種を導入することで 9型以上の採種園が構成可能に

- ・ 特定母樹に指定された**エリートツリー**から**14品種**が**少花粉品種**として開発できたことで、多様性に配慮しつつ、次世代の優良種子を生産するための採種園を構成することが可能に。
- ・ 9系統以上の品種を配置できると、ある品種の周囲に同じ品種が隣接して配置されなくなり、近親交配による種子の品質低下を抑制しつつ、**多様性に配慮した採種園での種子生産が期待。**

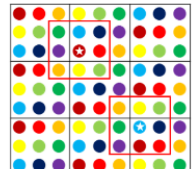
特定母樹
従来系統より成長・材質が優れる

×

少花粉品種
花粉生産量がとくに少ない品種

→

成長の良さと
少花粉性を併せ持つ
14品種



9型採種園のイメージ

令和8年3月5日 令和7年度林木育種成果発表会

松下主任研究員

「スギ特定母樹からの少花粉品種の開発の取組」

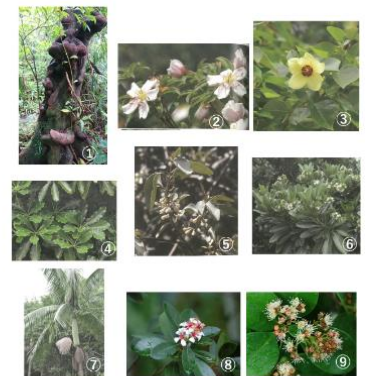
千吉良育種課長から、これまでの調査によって得られた九州育種基本区の特定母樹やエリートツリーの特性情報に基づいた普及の取組について発表を行いました。

玉城主任研究員から、小笠原諸島の希少樹種保全のため、小笠原諸島に自生する 60 種の樹木種子について、冷凍保存の前提となる乾燥耐性試験結果の発表を行いました。

佐藤主任研究員から、スギの木質改変に向けた異所的な木部細胞誘導系の確立に成功し、木部細胞及び二次壁形成時に発現する遺伝子群を網羅的に特定できたことについて発表を行いました。

判定結果
特徴的な種を中心に紹介

- ・ **乾燥耐性（発芽あり）：39種**
シマホルトノキ（ホルトノキ科）… ①
ハハジマンボタン（ノボタン科）… ②
テリハハマボウ（アオイ科）… ③
- ・ **乾燥耐性（休眠）：18種**
シロトベラ（トベラ科）… ④
オガサワラグミ（グミ科）… ⑤
ヤロード（キョウチクトウ科）… ⑥
- ・ **死亡：3種**
ノヤシ（ヤシ科）… ⑦
シャリンバイ（バラ科）… ⑧
ヒメフトモモ（フトモモ科）… ⑨



令和8年3月5日 令和7年度林木育種成果発表会

玉城主任研究員

小笠原諸島の希少樹種保全の取組

一種子の長期保存に向けた乾燥耐性試験について一

気候変動対策、花粉症発生源対策などについて、林木育種に対する社会的ニーズが益々高まっています。今後も更なる広報活動に努め、より多くの皆様に当センターの研究成果をお届けできるよう取り組んでまいります。

全苗連・苗組の行事予定

- 3月5日 令和7年度林木育種成果発表会(国研森林研究・整備機構森林総研林木育種センター)
- 3月13日 第2回林業特定技能協議会(一般社団法人林業技能向上センター)
- 3月16日 (独)勤労者退職金共済機構第55回運営委員会(林退共9F会議室)
- 3月25日 第10回全苗連生産者の集い実行委員会(秋田市)
～26日
- 4月上旬 令和7年度優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術の向上等事業林野庁報告
- 4月10日 全苗連緊急理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)
- 4月17日 令和7年度全国山林苗畑品評会三次審査(全苗連事務室)
- 4月22日 全苗連監査会(全苗連事務室)
- 5月8日 全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)
- 5月17日 全国植樹祭(愛媛県)
- 5月22日 全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)
- 9月3日 第10回全苗連生産者の集い(秋田市)
～5日